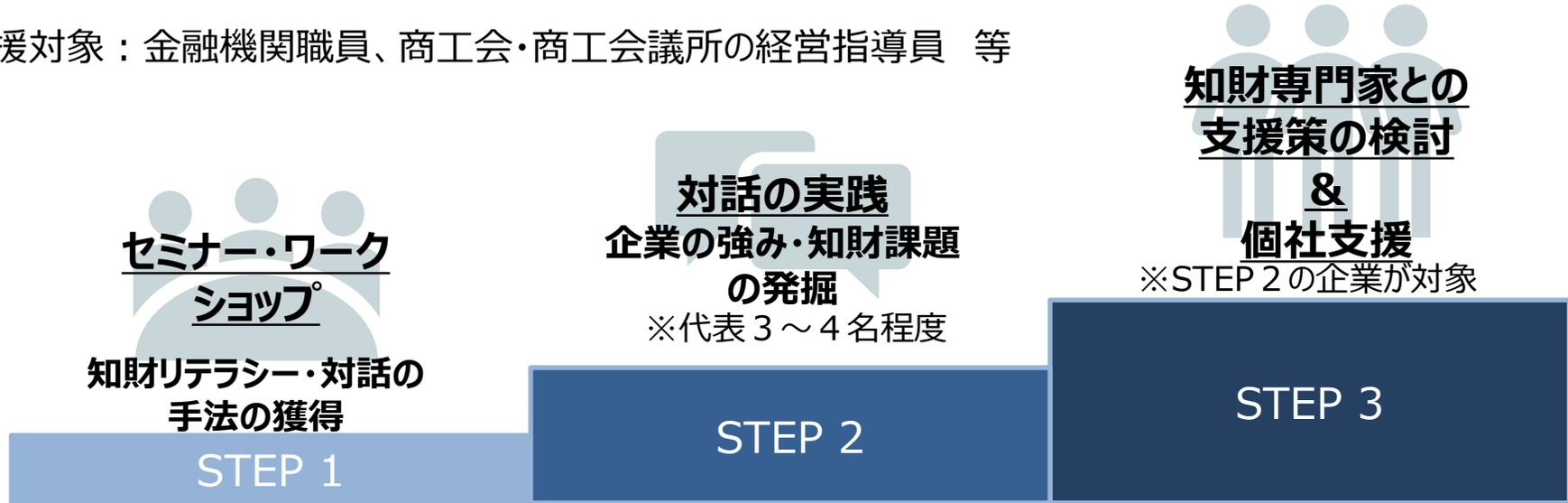


地域支援機関向け知財活用実践定着プログラム

- 「知的財産」の観点に着目し、企業の強みを引き出したり、課題を発掘できる人材を育成します。企業の理解度・支援の幅がさらに増し、企業との対話が深化します。

支援対象：金融機関職員、商工会・商工会議所の経営指導員 等



参加のメリット



地域で企業を支援する者として必要な**基礎マインド**や**知財リテラシー**を身に着けることができる



企業のことをより深く理解するための**対話の手法**を身に着けることができる



企業を支援するために**役立つ支援のフレームワーク**等を学ぶことができる



企業の**知的財産活用**の可能性に気づき、適切な**専門家**と協働して支援することができる

事業実施における具体的なイメージ（単独型）

8月



参加支援機関の募集・決定

応募要領等をご確認ください。



参加支援機関との事前調整

当プログラムの進め方や参加人数、開催場所等について、事前調整をします。

Step1



「対話」セミナ・ワークショップ

1回2-3時間、現地開催、知財視点を踏まえた対話のイメージをつかむためのセミナー・ワークショップを実施します。

9月-2月

Step2



「対話」の実践（2～3回）

1回1-2時間、現地開催、Step1に参加した職員のうち代表者4名程度が、中小企業等4社程度に対し、対話の実践をします。対話には必要に応じて事前に打ち合わせの機会を設けます。

※対話先企業数は、採択する支援機関数に応じて調整させていただきます。

Step3



専門家のサポートを受けた
企業支援（2-3回）

Step2に参加した4名程度（4社程度）に対し、抽出した課題をもとに、2-3回の個社支援を実施します。個社支援は訪問形式 各訪問の準備のため、参加者に対して専門家がサポートを提供します。

2月



成果報告会（1回）

1回2-3時間、現地開催、プログラム全体の成果について報告いただきます。

事業実施における具体的なイメージ（連携型）

